

相続・遺言のポイント50 目次

はじめに	2
------	---

第1章 相続手続とは

ポイント1	相続とは死亡した人の財産上の地位を引き継ぐこと	12
ポイント2	相続は人の死亡により開始する	14
ポイント3	相続手続には期限が法定されているものがある	17
ポイント4	相続は承認することも放棄することもできる	20
ポイント5	相続手続は遺言の有る無しで大きく異なる	22
ポイント6	相続人に認知症の人がいる場合	25
弁護士コラム	①成年後見制度とは何ですか？	27
弁護士コラム	②将来、認知症などになった場合に備える任意後見契約とは？	30

ポイント7	相続人に行方不明の者がいる場合	32
-------	-----------------	----

ポイント8	相続人に未成年者がいる場合	34
-------	---------------	----

ポイント9	弁護士・司法書士・税理士でできることが異なる	36
-------	------------------------	----

ポイント10	相続アドバイザーがトータルにフォローできる	38
--------	-----------------------	----

第2章 相続人の基礎知識

ポイント11	相続人になれる者とその順位・割合が法定されている	42
--------	--------------------------	----

ポイント12	相続人が誰かは戸籍で確認する	46
--------	----------------	----

ポイント13	親が死亡しているとき、その子が「代襲相続人」となる場合がある	52
--------	--------------------------------	----

ポイント14	法定相続人がいない場合の財産は国庫に帰属する。特別縁故者制度もある	54
--------	-----------------------------------	----

江さんのQ&A	①内縁の妻は、主人の家から出て行かないといけませんか？	56
---------	-----------------------------	----

ポイント15	法定相続人でも相続人になれない場合がある	58
--------	----------------------	----

弁護士コラム ③夫が亡くなりました。同居している義母に出て行ってもらうことはできますか？ — 61

江さんのQ&A ②放蕩息子に相続させたくないのですが…… — 63

第3章 相続財産（遺産）の基礎知識

ポイント16 慰謝料請求権は相続財産だが、生命保険金は違う — 66

江さんのQ&A ③相続放棄しても生命保険金を受け取れますか？ — 68

江さんのQ&A ④生命保険金は遺産分割の対象となりますか？ — 70

ポイント17 相続財産が一部の相続人に使い込まれていることがある — 72

第4章 遺産分割の手続

ポイント18 相続人全員が合意できれば、相続財産をどのようにも分割できる — 76

ポイント19 分割の仕方には、現物分割、換価分割、代償分割の3つがある — 78

ポイント20 債務（借金など）は債権者との関係では当然分割される — 80

ポイント21 遺産分割協議が無効などになる場合がある — 82

ポイント22 相続人間で話がかからない場合は、家庭裁判所の調停・審判の手続で解決を図る — 84

ポイント23 裁判所が判断する「遺産分割の基準」がある — 86

ポイント24 生前に贈与を受けていた相続人は、相続分から「特別受益」を引かれる場合がある — 88

江さんのQ&A ⑤父の生前の姉への土地贈与は、遺産分割でどうなる？ — 92

ポイント25 生前に財産の維持または増加に貢献した相続人には「寄与分」が認められる場合がある — 94

ポイント26 借金を相続したくないなら「相続放棄」の手続が一番 — 98

江さんのQ&A ⑥夫の死亡後に、夫の内緒の借金が分かったのですが…… — 102

江さんのQ&A ⑦死亡した父の借金取り立てが来たが、払えないのですが…… — 104

江さんのQ&A ⑧父が交通事故で死亡し、借金が発覚。どうすれば…… — 106

ポイント27 生前に「相続放棄」はできないが「遺留分放棄」はできる — 108

江さんのQ&A ⑨夫が別の女性との間で作った子に
相続させたくないのですが…… 110

ポイント 28 墓地の承継は指定がない場合
その土地の慣習による 112

ポイント 29 遺産分割協議書作成とその留意点について 114

第5章 遺言の手続

ポイント 30 遺言書作成とそのメリット・デメリット 118

弁護士コラム ④未成年の子どもがいる方は遺言を書こう 121

ポイント 31 遺言書の方式には、主として
「自筆証書遺言」「公正証書遺言」がある 123

ポイント 32 遺言書の探し方。
発見したら検認手続が必要な場合も 125

江さんのQ&A ⑩タンスの中から父の遺言書が
見つかったのですが…… 127

ポイント 33 遺言により相続人以外の人にも
財産を譲ることができる 129

ポイント 34 遺言によると取り分が少なすぎる相続人には、
「遺留分減殺請求」という取り戻し手段がある 131

ポイント 35 遺言書では
「遺言執行者」を定めておいた方がいい 136

ポイント 36 遺言書が2通以上あるときは、
新しいものが優先する 139

ポイント 37 認知症の疑いのある人の書いた遺言書は
もめる場合が多い 142

ポイント 38 エンディングノートは役立つが
遺言書としての法的効力はない 144

ポイント 39 遺言に代えて「家族信託」制度を
利用することもできる 147

江さんのQ&A ⑪自分が死んだ後のペットが心配ですが…… 150

第6章 相続税の基礎知識

ポイント 40 相続税は、特定の人への富の集中を回避し、
公平な社会実現のためにある 154

ポイント 41 基礎控除、配偶者控除などにより、
相続税が発生しない人が多い 156

ポイント 42 資産の評価の仕方は種別ごとに決まっている 158

ポイント 43 生命保険金や退職金には
非課税となる部分がある（非課税限度額） 162

ポイント 44	相続税総額の計算後に 各人の負担額が決定される	164
ポイント 45	相続税などの期限を守らなかった場合には 不利益がある	167
ポイント 46	遺産分割協議がまとまらないときは、 ひとまず法定相続分で申告する	171
ポイント 47	現金納付が原則だが、 延納や物納の例外がある	173
ポイント 48	無申告や過少申告には、 加算税が課せられる	175

第7章 生前贈与の手続

ポイント 49	相続対策として生前贈与の方法がある	178
ポイント 50	生前贈与の税金を精算する 「相続時精算課税制度」がある	181
江さんのQ&A	⑫子どもがいない夫婦ですが、 相続の注意点は？	184
編著者紹介		186